

養護教諭からの質問についての郡三師会の先生方のご回答について

(1) 保健室での対応について

- 保健室では、日々のけがや病気への対応の中で迷うことがたくさんあります。先生方の専門的なお立場からのご回答は、とても分かりやすく、ありがたいです。これからの生徒対応に生かしていきます。今後はコロナ対応が変化していく時期に入るので、校内の実態を考慮しつつ、慎重に検討しながら対応していく必要を感じました。
- お忙しい中、ありがとうございました。学校には様々な子どもたちがいるので、対応で困ったことが多くありました。今回、先生方に回答していただいたことで不安が解消され、自分の対応に自信を持つことができました。
- 子供達と接する中で、どのような処置の仕方が正しいのか？声掛けが正しいのか？を不安に思っていました。それぞれのお立場からわかりやすくご回答いただき、ありがとうございました。ふと迷ったとき、今日を振り返りながら執務をしていきたいと思いました。
- 日々の保健室対応の中で、「この対応でよいのか・・・でも、わざわざ学校医さんに伺うことでもないのかな・・・」と、不安や疑問を感じる時があります。今回の三師会で医師や薬剤師の先生方からご丁寧な説明をしていただくことで、今回学んだ知識をもとに以前より自信を持って対応できるような気がします。今後も専門的立場からご指導していただく機会を大切に、子どもの健康の保持増進を目指していきたいと思います。
- 養護教諭が医療機関の受診の目安やどのような治療がなされるのか、ある程度把握しておくことは大切だと感じました。また、低学年で症状がある場合から早めに対応することが必要だと思いました。
- どのご回答もとても参考になるものばかりで、勤務に活かしていきたいと思いました。

(2) 夜尿症等への対応

- お話を聞いたことで、夜尿症について受診を勧めるときには、医療機関でどのような対応をしていたのかを説明することができます。夜尿症は、子どもはもちろん、保護者にとっても不安なことだと思うので、適切な助言と、日ごろからの信頼関係の形成ができるようにしたいと思います。
- 現在は、夜尿症で悩む生徒はいないが、家庭で抱えこむのではなく、医療機関に繋ぐことが必要ということが勉強になった。特に応急手当の知識は専門書などには記載のない具体的な内容で、今後、自信を持って、手当てをすることができると思う。
- 夜尿症については、保護者からご相談のあることで、治療について大変よくわかり、保護者へ受診を勧めていくことが重要だとわかりました。・保健室でのけがの手当てについて、具体的に教えていただき、学校でも養護教諭不在時の対応について再度確認していくこと、次年度に再度提案していくことを実施していこうと思いました。
- 夜尿症の治療について、大変勉強になりました。今後は、宿泊研修前などに保護者から児童生徒の夜尿の状況について話をよく聞き、必要に応じて受診を勧めていきたい。
- 夜尿症について、先日も保護者より話があったばかりだったので、今回のご回答は大変参考になりました。保護者とも共有していきたいと思います。

(3) コロナ関連への対応について

- どの活動にもリスクや弊害はあり、何のためにどのリスクをとるを学校は判断する必要があると思いました。そのためにも、コロナに関するワクチンの有用性や後遺症に関する正確なデータの把握は大切だと感じました。
- 今後、コロナ対応についてどんどん変容していくことが予想されます。医師会の先生方のお話から、学校ごとに通達をもとにしたはっきりとしたルールを作ることで、混乱を招くことなく子ども

たちや保護者からの理解が得られると再確認しました。

- 新型コロナウイルス感染症が第5類に変更になっても、感染力や病気自体はそれほど変わらないので、どうしたらいいかと考えていました。回答いただけてよかったです。
- コロナについては今後対応も変化してくると予想されるので、教えていただいたことを基に、校医先生と相談しながら対応を検討していきたいです。

(4) 起立性調節障害について

- 起立性調節障害の対応について学ぶことができました。病気の原因や理由を正しく把握することで効果的な支援や対処ができると思いました。
- 起立性調節障害の生徒の保健室来室は少なくなく、ベッドで休ませることも多かったが、日中むやみに横になると起立耐性がさらに悪化するということを初めて知ったので、保護者の理解も得ながら、安易に横にさせないようにしたいと思いました。
- 救急処置の対応法や対応が難しいと感じていた起立性調節障害の子どもへの対応などを詳しく教えていただき大変参考になりました。
- 起立性調節障害の生徒が増えてきたように思います。対応の仕方などを伺うことができ勉強になりました。
- 起立性調節障害の疑いのある児童がいるので、ご回答をもとに日常生活の中で対応していきたいと思いました。
- 起立性調節障害について、より理解を深め対応できる様になりたいと感じました。

(5) けが、擦り傷・骨折等について

- 怪我の処置について、病院受診の判断に迷うこともありますが、具体的な事例を挙げながら対応について教えていただけてとても参考になりました。学校医の先生方から丁寧にご指導いただけたことで、私たちも自信をもって対応することができます。
- 擦り傷の手当てについてや骨折を疑うケースなど身近な手当てについて聞くことができ、大変参考になりました。
- 水道水での洗浄が保健室で一番丁寧にやるべき応急処置だと思いました。
- 擦り傷の処置や病院受診の基準を詳しく学ぶことができました。今後の来室者対応や保健「けがの手当」の授業で生かしていきたいと思っています。
- 突き指や骨折など受診に迷うことばかりなので、迷ったら受診するようにしています。学校から受診してもいつも温かく診察していただけて感謝しています。受診の目安をお示しいただけたので、保護者の方と相談しながら適切に対応できるよう努めたいと思います。
- 突き指をする生徒が多いため、受診の基準や時間について具体的に教えていただけたことが大変ありがたかったです。
- 整形外科の領域では、「我慢できる痛みであれば、夕方の受診でよい」とはっきり言っていただけてよかったです。
- 擦過傷や突き指の対応など、細かなところまで教えていただきありがとうございました。迷いなく対応ができます。
- 擦り傷については日常的によく起こっていることなので、手当ての方法や留意点について学べてよかったです。(洗浄、受診の勧めの必要性等) 傷の手当てについてのお話がとても勉強になりました。
- ケガの湿潤療法の知識はありますが、保健室ではあくまでも医療機関へつなぐまでの応急処置とされています。継続的に観察が必要となる処置を保健室で行っても良いものか迷います。
- 擦過傷の対応について、水道水でしっかり洗浄するというご指導をいただき、普段行っている処置があっていると確認でき続けていきたいです。



(6) 眼科関連について

- デジタルデバイスの使用について今後も学校から使用方法や姿勢、長時間使用に伴うリスクについて伝えていく必要があると思いました。
- 最近よく耳にする「急性内斜視」についても、発症しやすい生活習慣の傾向や必要な指導を知ることができたので、保健だよりなどで児童・保護者に周知・指導していきたいと思えます。

(7) 歯科関連について

- 歯科先生のご回答より、学校で行うフッ素洗口や歯磨きなど歯科保健活動の教育的側面を大切にして、継続していきたいと思えます。



(8) 学校環境衛生等について

- 「メリハリのある」対応が今後、学校で求められる対応だと感じました。一律に制限や廃止をするのではなく、リスクや理由を精査して対応を決めていきたいと思えます。
- 環境衛生検査の意義や方法についても、よく分かりました。

三師会と養護教諭との交流会について

- 日頃の疑問や不安に直接三師の先生方か三師の先生方からお答えいただける貴重な機会となり、大変ありがたいです。
- 疑問に思ったこと、不安になったことなど、専門の方々に教えていただけるのが本当にありがたいです。毎年大変勉強になります。ありがとうございます。
- 「校医さんに連絡して聞くほどのことでもないけど分からない」ということが多く、普段の児童対応に不安を感じることがあります。事前に質問させてもらい、専門的立場からの文書回答をいただけることで、正しい対応が分かるため、とても勉強になり、普段の業務に自信をもつことができます。
- 日々の保健室対応で、専門家である医師に聞きたいと思うことがたくさんあります。その疑問を医師に聞ける機会は、養護教諭としての専門性を深める意味でもとてもいい機会でもとても勉強になりました。お忙しいなか時間を割いてくださった、先生がたに感謝致します。
- お忙しい三師会の先生方に養護教諭からお声がけするのはとても恐れ多いものです。しかし、揖斐郡では学校保健会としてこのような取り組みがされていることもあり、三師会の先生に相談やご意見を伺いやすい関係性や雰囲気が素晴らしいと思えます。今後ともよろしく願います。
- 毎年、この交流会の資料（今回は「三師会と養護教諭との交流会ノート」）を、職員に配付し、終礼で「傷の対応」など、確認をしていきます。
- 新型コロナ感染症の流行後、初めての対面での三師会でしたが、様々な立場からのお話をお聞きできとても充実した時間になりました。計画や準備等、ありがとうございます。
- 集合型にして話を聞いたほうが、その中で自分の疑問点も後で聞けることもあり、1人職として同じ養護教諭との交流もでき、職務上必要と思えます。集合型で実施していただきいただきありがとうございます。また、事前に解答を送っていただき、疑問点が会に参加して解消できました。
- こういった形式であれば、お医者様も忙しいと思えますので、オンラインでも良いのかな？と思えます。でも、オンラインではなく相手の顔を見て話を聞くのも、大切なのかなとも思えます。結局はどちらが良いのかわかりませんが、現場で困っていることを質問できるのは大変ありがたいですし、文書として残っているのはありがたいです。
- 事前に三師会の先生方に質問に答えていただいたものを読んでいくことができ、当日は付け足しの説明をお聞きでき、とてもスムーズに効果的に学ぶことができました。
- 事前に回答をいただいたことを、補足して専門医の立場からお話をしていただけるので、大変ありがたいです。また、事前に「交流会ノート」を配付していただけたので、当日の理解がより深めることができました。

